

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-536389(P2013-536389A)

【公表日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-049

【出願番号】特願2013-526052(P2013-526052)

【国際特許分類】

F 1 6 D 41/34 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 41/34

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転軸を中心として配置された第 1 のハブおよび第 2 のハブと、

前記第 1 のハブに係合しており、かつ前記第 2 のハブの半径方向外側に配置されたラップスプリングであって、第 1 の回転方向における前記第 1 のハブの回転の間、前記第 1 のハブと前記第 2 のハブとを回転のため互いに結合するように構成されているラップスプリングと、

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 1 のシューと、

前記第 2 のハブと前記第 1 のシューとの間に半径方向に配置された第 1 のスプリングと、
を含む、回転結合器。

【請求項 2】

前記第 2 のハブと前記第 1 のシューとの間に配置された第 2 のスプリングをさらに含む、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 3】

前記第 1 のスプリングは圧縮スプリングを含む、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 4】

前記第 1 のスプリングはスプリングワッシャーを含む、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 5】

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 2 のシューと、
前記第 2 のハブと前記第 2 のシューとの間に半径方向に配置された第 2 のスプリングと、
をさらに含む、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 6】

前記第 1 のシューと前記第 2 のシューとが互いに直径方向に対向している、請求項 5 に記載の回転結合器。

【請求項 7】

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 3 のシューと

、
前記第 2 のハブと前記第 3 のシューとの間に半径方向に配置された第 3 のスプリングと
、
をさらに含む、請求項 5 に記載の回転結合器。

【請求項 8】

前記第 1 のシュー、前記第 2 のシューおよび前記第 3 のシューのうち任意の 2 つの周方向に近傍するシュー間の周方向距離が等しい、請求項 7 に記載の回転結合器。

【請求項 9】

前記ラップスプリングの半径方向外側に配置されたカラーをさらに含み、前記ラップスプリングの第 1 の端部が前記カラーに結合されている、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 10】

前記第 2 のハブは、半径方向外側表面に、前記第 1 のスプリングおよび前記第 1 のシューを受容するように構成された凹部を含む、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 11】

前記第 1 のハブと前記第 2 のハブとが回転のため互いに結合されるとき、前記軸から前記第 1 のシューの半径方向外側表面までの距離が、前記軸から前記第 2 のハブの半径方向外側表面までの距離と実質的に等しい、請求項 1 に記載の回転結合器。

【請求項 12】

回転軸を中心として配置された第 1 のハブおよび第 2 のハブと、

前記第 1 のハブに係合しており、かつ前記第 2 のハブの半径方向外側に配置されたラップスプリングであって、第 1 の回転方向における前記第 1 のハブの回転の間、前記第 1 のハブと前記第 2 のハブとを回転のため互いに結合するように構成されているラップスプリングと、

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された、前記ラップスプリングを前記第 2 のハブから離れる方に押圧するための手段と、
を含む、回転結合器。

【請求項 13】

前記押圧手段は、

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 1 のシューと

、
前記第 1 のシューを前記第 2 のハブから半径方向外側に付勢するための手段と、
を含む、請求項 12 に記載の回転結合器。

【請求項 14】

前記付勢手段は圧縮スプリングを含む、請求項 13 に記載の回転結合器。

【請求項 15】

前記付勢手段はスプリングワッシャーを含む、請求項 13 に記載の回転結合器。

【請求項 16】

前記押圧手段は、

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 2 のシューと

、
前記第 2 のシューを前記第 2 のハブから半径方向外側に付勢するための手段と、
をさらに含む、請求項 13 に記載の回転結合器。

【請求項 17】

前記第 1 のシューと前記第 2 のシューとが互いに直径方向に対向している、請求項 16 に記載の回転結合器。

【請求項 18】

前記押圧手段は、

前記第 2 のハブと前記ラップスプリングとの間に半径方向に配置された第 3 のシューと

、
前記第 3 のシューを前記第 2 のハブから半径方向外側に付勢するための手段と、

をさらに含む、請求項 16 に記載の回転結合器。

【請求項 19】

前記第 1 のシュー、前記第 2 のシューおよび前記第 3 のシューのうち任意の 2 つの周方向に近傍するシュー間における周方向距離が等しい、請求項 18 に記載の回転結合器。

【請求項 20】

前記第 1 のハブと前記第 2 のハブとが回転のため互いに結合されるとき、前記軸から前記第 1 のシューの半径方向外側表面までの距離が、前記軸から前記第 2 のハブの半径方向外側表面までの距離と実質的に等しい、請求項 13 に記載の回転結合器。

【請求項 21】

前記ラップスプリングの半径方向外側に配置されたカラーをさらに含み、前記ラップスプリングの第 1 の端部が前記カラーと結合されている、請求項 12 に記載の回転結合器。

【請求項 22】

前記第 2 のハブは、半径方向外側表面に、前記押圧手段を受容するように構成された凹部を含む、請求項 12 に記載の回転結合器。